

交換留学(派遣) 帰国報告書



留学先大学:	ライデン大学
留学先での所属学部・研究科:	humanities
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2018/8/25-2019/7/5
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2019/7/6
本報告書記入日:	2019/7/16

1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	8月 25日	
	学年終了月日:	7月 5日	
	学期:	①	9月 3日 ~ 2月 1日
		②	2月 4日 ~ 7月 5日
③		月 日 ~ 月 日	
④		月 日 ~ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	ヨーロッパで唯一の日本学が学べる大学	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	特になし	
	勉学面でのサポート:	補習などは特になし	
	精神面でのサポート:	特になし	
	住居・生活面でのサポート:	日本学科の学生がパディとしてついてくれた	
	課外活動のサポート:	特になし	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい	

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含ま自由に記入してください。(気を付けること等)	住居が極端に不足しており、家賃も高いので、寮に申し込みなければ何よりも早く申し込むべき
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	良い
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	家賃に組み込まれています。Wifiルーターは自費です。 学籍番号でログインできるWi-Fiがあります。
3-2	医療について	留学開始時にGPIに登録します。
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	いいえ
3-3	銀行口座等について	現地で口座を作ります。(留学前にオンラインで申し込みます)
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	留学前にオンラインで手続きをして、warm welcome up serviceの間に大学で受け取りが出来ます。(Rabobankのみ)

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	15万 円
	住居費:	(月額) 9万3千円 × (留学月数) 12ヵ月 = 110万 円
	食費:	(月額) 3万円 × (留学月数) 11ヵ月 = 33万 円
	保険料:	円
	その他:	円
	合計(留学期間全体の費用):	160万~200万円

5. 異文化体験について	
5-1	<p>留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。</p> <p>大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。</p> <p>課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。</p> <p>留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)</p>
	<p>基本的にすべてゆったりなので催促しないとやってくれません。</p> <p>日本学科の学生との関りが多かったです。</p> <p>家賃が高くお金がなかったため、駐在員の娘さんの家庭教師やベビーシッターをしていました。</p> <p>移民が少ない街ですが、外国人にも優しく治安もいい街です。</p>

6. 就職活動について	
6-1	<p>留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。</p>
	<p>インターンシップを申し込んだくらいです。</p>

7. アドバイス、振り返り	
7-1	<p>現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。</p>
	<p>特になし</p>
7-2	<p>現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。</p>
	<p>だしパック、サランラップ、便座シート</p>
7-3	<p>留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)</p>
	<p>英語力、コミュニケーション力、人見知りが改善された</p>
	<p>留学前:(IELTS6.5) 点 → 帰国後:(---) 点</p>
7-4	<p>振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。</p>
	<p>家探し</p>
7-5	<p>留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。</p>
	<p>適切でした</p>
7-6	<p>本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。</p>
	<p>人生経験になるので留学は是非してほしいな、と思います。</p>
7-7	<p>留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか ・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか ・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか ・留学全体の総合的な評価
	<p>(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)</p>
	<p>5</p>
	<p>2</p>
	<p>5</p>
	<p>3</p>
	<p>1</p>
	<p>5</p>
	<p>5</p>

8. その他伝えておきたいこと、感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
<p>総合してとても楽しく価値のある留学でした。私たちの代は、日本人留学生の仲もよく、日本学科の学生との交流も盛んだったので、みんなでパーティーやピクニックなどして日常的に一緒に遊んでいました。なので、留学中に孤独を感じたり、ホームシックになることもなく、むしろ帰りたくないと思えるほどの留学生活でした。</p> <p>勉強面ではリーディングも多く、英語も特別得意ではなかったのが大変でしたが、ウェブ上で授業の録画を観ることのできる授業もあるので何とかついていけました。図書館の環境も素晴らしく、深夜1時まで空いているので、テスト前などは籠っていました。(ただテスト前は皆が図書館に籠るので座席の確保が難しいです)</p> <p>今後ライデン大学に留学する方々に一番伝えておきたいのが、住宅不足がシビアであるということです。私は留学が決まって4月の初めに寮の申し込みをしましたが、2か月後の6月に「先着順で用意が出来ないので自分で探してください」というメールが来ました。住宅探しに関してライデン大学は一切手助けをしてくれないので、比較的高額にはなりますが、大学の寮で生活したいという方は、気を付けて早めに申し込みをしてください。</p> <p>また、住所が決まっていなくて居住許可の申請が出来ません。ちなみに銀行の開設もRabobankでは出来なかったと思います。(INGでは出来るそうです)</p> <p>なので渡航後に現地ですばらくホテルに宿泊しながら、Facebookなどで家探しをする予定の方は、それ相応のリスクもあるので覚悟をしてください。</p> <p>そして2番目に伝えておきたいことは、日本学科の1年生と仲良くしてください！日本語の会話のクラスをお手伝いするよう日本学科の先生からお願いされると思います。是非積極的にお手伝いしてほしいです。現地の学生を知る機会にもなりますし、1年生は基本的には日本語の勉強を始めたばかりで、会話は英語なので、自身の勉強にもなります。留学が終わった後でも、友達として関係性を長く続けられる人たちだと思うので損はありません。(むしろ得しかありません！)</p>	

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Dutch culture	Olga.van.Marion	1	5EC	英語	50	
2	Dutch history	Anna Dlabacov	1	5EC	英語	50	
3	Modern Japanese	Ethan Mark	1	5EC	英語	50	
4	Nation, Culture, Community in South Asia and South East Asia	Roshni Sengupta, Jochem van den Boogert	1	5EC	英語	15	
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

後期はオランダ関連の授業を多くとっていました。特にDutch Cultureの授業では半年間のオランダ生活があるので、納得できる部分も多く、課外活動も多かったのととても楽しんで受講できました。オランダ関連の授業は留学生が多く、一緒にCity Reportを書く課題などもあったので、生徒間の交流も多かったように感じます。その中で、周りの生徒のレベルの高さを感じることは多々ありました。